

## 留学生試験 / 合格体験記 ①

多摩美術大学

生産デザイン学科プロダクトデザイン専攻合格

黄 麗榮さん (中国出身)



新美の良いところは、講師の先生が日本人だということです。最初の頃は、美術に関する言葉が分からないことも多くありましたが、毎回ノートを取り自分でも勉強しました。中国人の先生が多いと、自分で考えることが少なくなります。自分で考えた上で、先生方とコミュニケーションを取ることで、美術に関する日本語も身につけられました。また絵についても、中国では習わない際(キワ)の意識が高まり、デッサンも上達しました。私が一番悩んだのは小論文ですが、先生から何度もアドバイスをもらい、難解なことを書くのではなく、自分なりの視点で書くことが大事だと分かりました。スランプになることもありましたが、新美の先生方や友人とたくさんしゃべって不安も解消できました。新美にはとても感謝しています。

## 留学生試験 / 合格体験記 ②

武蔵野美術大学

視覚伝達デザイン学科合格

黄 逸飛さん (中国出身)



新美の先生方は日本人ばかりで、また在学中の学生講師も多くとても熱心に指導していただきました。また日本人の学生たちはとてもまじめで、熱心に集中して絵を描いている環境はとても良かったです。日本人の学生の作品から刺激を受けることも多かったです。デッサンでは、空間や陰影、物が床に置かれている状況を意識することを学びました。入試本番でも、先生に言われたことをしっかりとやることで合格できたと思います。私にとって、日本人の先生や友人との出会いは重要でした。一期一会みたいな人との縁を大切に、日常から、何気ないことから、何か役に立つかなというチャンス大切に。出会った人が本当に重要だと思います。自分が努力しても、できないことがいっぱいあるから、誰かが助けてくれて、一緒にその壁を乗り越えることが本当に大切だなと思いました。

## 留学生試験 / 合格体験記 ③

東京芸術大学

先端芸術表現科合格

李 沐韵さん (中国出身)



私は留学生なので、最初藝大を受験することを決めた時、予備校に関する情報はほとんどありませんでした。新美に来るのもシンプルに知り合いがここに通っていて、私も通うことになりました。でも今は心の底から新美に来て、よかったですと思っています。普段の授業では、先生が細かく私のデッサンの問題を指摘してくれて、日本のデッサンスタイルや描き方を教えてくれました。総合実技に関しては、最初は全く何をやるべきがおからなかったが、それも先生の指導によって練習し、最後はできるようになりました。ポトフォリアの制作に関しても、いろいろ役立つアドバイスをいただきました。最終的にいい効果を出しました。二次試験が終わった後、先生たちも面接に対して対策を立ててくれました。もし私が新美に来なかったら、きっと受かることはできなかったと思っています。